

のびき



特定非営利活動法人

山口発達臨床支援センター

5・6月号

2012年6月1日

新学期が始まって早ふた月。子どもたちは新しい環境に慣れてきた頃でしょうか。新学期の緊張感が抜けて5月病にかかったとの報告もありました。

朝晩は冷え、昼は夏のように暑いため、大人でも体調管理が難しい日々…。子ども自身、いつもと違う自分の体の変調に気づき、人に必要な助けを求めることができることも、自立への第一歩なのではないでしょうか。周りにいる私たちが必要な言葉を促していく必要性を感じています。



キラリンピック入賞！
誇らしい顔が輝いているね！

就職が決まったと連絡してきてくれたt君、キラリンピックの成果を大事に持ってきてくれたy君、うれしい報告が聞けて幸せです！

『かわませんせ〜い』

いつもより声のトーンが高いきよちゃん！『これ…初給料で買ったので食べてください』一瞬ことばに詰まり、走馬灯のように1年生の頃がよみがえってきました。どのお子さんも初回面接の時のことを覚えています。そしてその時の声を今も覚えています。

最初の頃のきよちゃんは、席に着くよりもプラレールや車で遊びながら勉強する時間の方が長かったかもしれません。お母さんのことが大好きなきよちゃんは、お母さんの温かいまなざしの中で見守られ、優しい気持ちを育まれ、いつしか私を気遣うことばをかけてくれるようにもなりました。今は、机に向かって真剣に学習に取り組んでいます。

今やんちゃん小さい子どもたちも、いつしかどっしりと物事に向かう大人になっていきます。お子さんが小さい時に診断名を告げられて、しばらくは目の前で成長している姿よりも診断名ばかりが頭から離れない日々が続くかと思えます。でも今を見て将来を決めないでくださいね。確実に子どもたちは成長していきます。きよちゃんのお母さんがおっしゃっていました。『あの頃、給料をもらってくる姿を想像することはできなかったです。』

今できることを認め、少し先のことを提示しながら次の一步に進んでいけるように後押ししていくことが大切なんだなあ…と、今社会に出て頑張っている子どもたちから学んでいます。

次はどんなことばをかけてくれるか、とても楽しみです。

センターは卒業がありません。社会人になった子どもたちにとって、勉強する場であったり話をしに来る場であったり使い方は様々です。時には食事に行ったり、野球観戦に行ったり…いろいろな使い方をしていると思っています。休みの時にちょっと立ち寄ってみたいと思う場所でありたいと思っています。

イオングループ イオン防府店様より

4月15日(日)、24,800円のギフトカードが贈呈されました。昨年度1年間分の皆さまの思いが詰まっています。大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

毎月11日はイオン各店「黄色いレシートキャンペーン」の日です。センターは、イオン(旧サテイ)にボックスを置いています。黄色いレシートを専用ボックスに入れていただければ金額の1%が寄付されます。皆さまの気持ちが力になります。ご協力よろしくお願いいたします。今回いただいたギフトカードは、教材、教具等の購入に使用させていただく予定です。



山口特別支援教育臨床研究会 5/12(土)

「外部専門家の活用について ～外部専門家の立場から～」

話題提供 山口発達臨床支援センター 川間弘子

ここ数年、文部科学省の委託を受けて外部専門家活用事業を行っている島根県の特別支援学校に訪問しています。島根県は転勤された先生がつないで下さる人の連鎖により、二校以外の支援学校にお邪魔しています。また、一昨年より県内の二校にも定期的に伺うようにもなりました。その中で思うこととお話させていただきました。

一つ目は、学校によって活用の仕方が異なること。ある学校は、折角来てくれたからという熱い思いから(と受け取っていますが…)、約20分刻みに校内を案内され10数名の子どもたちの摂食、運動・動作、個別の学習、作業学習など指導の内容もバリエーションに富んでいます。言語聴覚士として呼んでいただきながらも何でも屋で都合が良いのかなあと思いつつ…。場面ごとに異なるスペシャリストが見る良さもありますが、断片的に見るよりも広く浅くなるかもしれませんが、子どもの全体像から授業相互の関係をとらえられる良さがあります。子どもの中心課題をそれぞれの担当教員が共通理解することは、各授業の指導の重点、子どもを見る観点が明確になり、評価も相互に関連させながら子どもの成長を把握することができると思っています。ただし、子どもを見て瞬時に子どもの発達段階をおさえ、先生からの情報を頭の中でリンクさせながら仮説を立てられることが前提となりますが…。

二つ目は、先生方への伝え方です。まず先生にいつものように授業をしていただき、先生が一番子どもに伝えたいことを把握し、その思いを受けて私なりの方法で子どもとかかわり、子どもができた瞬間を共有するようにしています。ただし子どもと向き合う時間は真剣勝負です。そこで子どもを変えないと先生との信頼関係が築けませんから…。目標に向けていろいろな道があります。そのひとつを提供するスタンスでいます。

三つ目は、外部専門家の立場から学校への提言として…限られた予算で使うので、使うならば有効に！かつ継続的に！継続していくことで、伝える側はそもそも論から伝えることがなくなり、エッセンスだけで済みます。そして継続することで軌道修正ができます。何より私にとっては知り会えた子どもたちや先生に会えることが楽しみです。

《参加者より》

- ・最初に実際に子どもを指導しているビデオを見て、その発達段階を見立てることを行っただが、細かい呈示方法や子どもの視線から、現在の発達段階を見立てることの難しさと大切さを改めて感じた。
- ・学校でも教員によって子どもの状態の捉え方が異なる。発達段階表など、柱としての指標を設けることで、教員同士が共通の見方で子どもの状態を捉え、指導にも一貫性が生まれるのではないかと。

次回の定例研究会は、6月23日(土)です。 ほぼ隔月に行っています。

《時間》9：30～11：30 《場所》当センター1階 《参加費》500円（飲み物・資料代）

今回の話題提供は、山陽小野田市立厚狭小学校 縄手昌子先生です。テーマは『小集団で行うソーシャルスキルトレーニングの取り組み』です。どなたでも参加できますが、資料の関係がありますので、参加希望の方は前日までにお知らせください。

茶話会

日時：5月25日（金）

テーマ：「高校進学に向けて」

講師：野村貴隆先生



（思春期臨床センターネムハイスクール代表株式会社 ノムラエキスパート モール代表取締役）

センターをご利用の中高生のお子さんの保護者の方、近隣にお住まいの受験生をお持ちの保護者の方にご参加いただきました。ネムハイスクールを立ち上げられた先生の熱い思い、学校を巣立っていった子どもたちの感動することは、学校の概要や仕組みなど、時間を忘れて聴き入ってしまいました。「個別、マイペース、WITH」を基に、生徒の自己肯定を大切にするというお話は、センターとも通じるものがあると感じました。資料がセンターにありますので、ご希望の方はお申し出ください。

また、センターより近年の受験の動向についても、情報提供させていただきました。

ご参加いただいた皆様、お忙しい中お話しいただいた野村様にこの場をお借りしお礼申し上げます。

《参加者より》

・野村先生の発達障害への理解や、接し方、これからの夢を聞いて、「野村先生のように理解して下さるような方が周りにたくさんいらっしゃったら子どもを社会に送り出す時、どんなに安心だろう。」と思いました。高校受験など不安だらけですが、色々な方の力をお借りして、我が子に合う社会生活を送らせてやりたいと思います。

平成24年度社員総会報告

4月29日（日）に社員総会を行いました。H23年度の収支報告と、H24年度の事業計画について役員の方々にご意見と助言を頂きました。

近年成人の方の利用が多く、幼児期から児童期前期のお子さんの利用が少ないことがセンターの傾向としてあります。小さいお子さんが増えていくことも希望していますが、成人の方がセンターならではと思われて来られていることを大切にしたいという役員の方のおことばに、センターの今後の方向が見えた気持ちでいます。

また、センターは備品以外の人件費等はすべて会員様の会費で運営しています。今の世の中、制度で使えるものは使ってもよいのでは、という建設的なご意見もありがたく思っています。会員の皆様にとってより負担の少ない方向で、制度に目を向けていく必要を感じます。

平成24年度役員

理事長	川間弘子（当センター）
医療関係	藤山哲男様（藤山医院） 林 隆様（山口県立大学）
教育関係	松田信夫様（山口大学） 宮城武久様（つばき教育研究所） 川間健之介様（筑波大学）
福祉関係	坪郷 康様（下関福祉専門学校）
地域関係	山中雅俊様（右田地域青少年育成協議会）
保護者関係	榊原時江様 梅本玲子様 魚谷啓子様

お知らせ

お知らせが遅れましたが、昨年度、中高生コースを担当していた三艱丸厚宣先生は、3月末で退職されました。以前会報でご紹介したように、三艱丸先生は通信制の星槎高等学校の山口でのサポーターでもあり不安に思われる方もおられるかと思えます。センターとしては、特定の学校を斡旋することはしていませんが、できるだけ多くの情報を会

員の皆様にお伝えし、会員の皆様にとって選択肢が広がればという思いでいます。ご縁がありましたので、三舩丸先生からは、何かの時には声をかけてくださいと温かいおことばをいただいております。また、研修にいられていた岡村かおり先生は、4月末で研修を終えられました。子どものことが大好きな先生です。是非、言語聴覚士資格取得に向け、難関国家試験を合格されますことを願っております。かかわらせていただきました皆さまに感謝いたします。

みなさまの温かいご支援で成り立っています。誠にありがとうございます。

H24 年度新規・継続賛助会員様

水野康恵様 稗田久恵様 日下貴美様 石塚葉子様 馬越美由記様 杉山由美様 別府登志子様
樂満恵子様 國井理江様 尾崎 幸子様 瀬田秀樹様 原川 信様 長井玲子様 大橋みさき様
松田敦子様 倍地淳子様 永見修一様 橋本哲弥様 三澤義一様 杉田大地様 久保汐里様
一木悠紀様 春木 豊様 三浦淳江様 池上紀子様 岡田理子様 上原啓子様 松永知子様
原元美智枝様 三浦祐一様 古川順子様 橋村雅子様 左草世津子様 白井隆司様 海田恵子様
落合由美様 河合康様 山田光江様 松尾秀成様 松尾真実代様 山中雅俊様 松田信夫様
梅本玲子様 林 隆様 松岡幸子様 原田真太郎様 匿名希望様 福田雅子様 森次恵子様
小川美佐江様 平野 恵様 市川博子様 藤井節子様
兼定 啓子様(ののほなクリニック) 蔵重 秀樹様(くらしげ小児科) 日向 國雄様(ひまわり保育園)
岡田 理子様(三田尻病院) 川井 伸夫様(帝京科学大学) 山陽建設工業様
児童デイサービスきしゃぽっぽ様

【順不同】

ご寄付・ご寄贈

大橋みさき様 杉田 大地様 蔵重 秀樹様(くらしげ小児科) 岡田 理子様(三田尻病院)武田 知佳様 松田 信夫様 梅本 玲子様 【順不同】
赤い羽根共同募金様(検査用具一式:田中ピネーV、DN-CAS認知評価システム、フロスティッグ視知覚発達検査、S-M社会生活能力検査用具、絵画語彙発達検査用具、小学生の読み書きスクリーニング) 有効に使わせていただきます。



利用会員・賛助会員のみなさまへお知らせ・お願い

《利用会員様の指導料、利用年会費の支払い方法変更について》

平成24年4月より、指導料を利用会員様の口座からの引落にさせていただいております。ご契約いただいた方々、ご協力ありがとうございました。毎月15日までに指定口座への入金をお願いいたします。

ご契約がまだお済みでない方は、ご提出をお願いいたします。引落準備ができるまでは、これまで通りお振込にてご入金ください。

賛助会員様につきましては、これまで通り、下記郵便局の口座に年会費をお振込いただきますようお願いいたします。引き続き、ご支援いただきますと幸いです。

指導料の振込先(※依頼書未提出の方)

山口銀行右田支店 普通預金 口座番号 6081078

名称: 特定非営利活動法人 山口発達臨床支援センター 理事長 川間弘子

賛助会員の年会費の振込先

郵便局(日本郵政公社)口座番号 01390-5-49401 名称: NPO山口発達臨床支援センター

(編集後記) 早いもので、あっという間にまた夏がやってきます。日常の中で忘れがちな季節ですが、その時々
の植物や旬の食物からたくさん元気や栄養をもらって日本特有の四季を感じていきたいな、と思います。(矢田)

